

(株)苫東 第25回経営諮問委員会の概要

- 1 日 時 令和4年5月23日（月）13時00分～14時10分
- 2 場 所 ホテルポールスター札幌 2階セレナード
- 3 出 席 9名
- 4 議 題

- （1）最近の主な動き
- （2）令和3年度経営概況について
- （3）令和4年度事業計画等について
- （4）苫東地域のプロジェクト動向

5 委員からの主な意見

□新型コロナウイルスの影響で、企業の誘致活動にも制約が出ている中、バイオマス発電所設置用地、医療機器工場用地など、注目度の高い産業の企業誘致を成功させ、苫東開発を推進していただいた。引き続き積極的な誘致活動等を行っていただきたい。

□分譲の進捗に合わせて土地造成、用水の確保、電力系統への接続など、分譲需要見通しを立てた上で、適切かつ前向きなインフラ整備を行っていただきたい。

□デジタル分野については、データセンターの誘致に係る研究会が立ち上がっているが、北海道としては、国内最大規模のデータセンターの立地に向けて取り組みを進めている。苫東は、広大な用地、また、再生可能エネルギーの活用といった大きな優位性がある地域だと考えているので、立地インセンティブを高めていくことが重要である。

□エネルギー分野については、ゼロカーボン北海道を掲げ北海道全体で取り組んでいるが、今後様々な取り組みが事業として具体的になることを期待したい。

□カーボンニュートラルについて、今後「RE100」を求める企業も増えてくると思われ、苫東内でどうサプライして行かかが誘致に当たっての大きなポイントになるのではないかと。

□ロジスティクスについては、製品の特性に応じ、輸送手段は変わってくるが、苫東は物流の輸送手段について複数の経路があり、この優位性をアピールしていくことが必要である。

□カネカをはじめ大規模な企業誘致に成功したことは喜ばしいが、ウクライナ情勢などによって、工事資材等の高騰による企業の投資マインドに影響が生じると思われるため、今後、苫東の魅力をどう伝え、投資意欲を持ってもらうかが重要である。

□苫東は、「最後に残された大型工業団地」から「最先端の進化した技術集約型の工業団地」へと進化しつつある。今後ロシアの弱体化に伴い、日本における産業立地も大きく変化していくと思うので、戦略的に対応できるような場として、苫東をシンボリックに盛り上げていきたい。

以上